

イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。使徒言行録2章33節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869
FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

6月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：キリスト者の家庭
- ②宣教の意向：宗教間の対話および福音の文化内開花
- ③日本教会の意向：広報メディアの活用

教皇大使が長崎教区を訪問

駐日教皇大使アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教(63歳)が長崎教区を訪れた。期間は5月26日から30日までの5日間。この間各地の教会、殉教地などを積極的に視察し、司祭団および信徒との歓迎会、教区修道女連盟シスターとの集い、また神学生やその養成者との交流を図るなど、教区の様子を一つひとつ確かめた。

初日の26日、駐日教皇大使は松山町の爆心地公園をはじめ原爆資料館、如己堂など高見大司教の案内で回った。

被爆中心地では修学旅行生の平和の誓いなどが朗読される中、中心地の碑に献花、大使の来崎を聞いて参集した信徒に笑顔で応え、集まった記者団に次のように感想を述べていた。「私自身も戦時



爆心地公園で献花する教皇大使

中に生まれ、つらい思いをしました。この場所を訪れてよかったです。これからこのような戦争がないように神さまにお願いし祈りたいと思います。

修学旅行生も訪れていますが、対話し愛し合い、平和の道を学んでいってほしいと心から願います。原爆資料館では旧浦上天主堂の遺物について資料館館長の説明を聞き、天使像、被爆時間を指すこわれた柱時計などを熱心に見て回った。如己堂では永井 隆先生の孫徳三郎・記念館館長の説明を受けた。

初日の最終コース、カトリックセンターでは「歓迎」と書かれた色紙を持つシスター職員らに挨拶され、3階にある前教皇ヨハネ・パウロ2世の宿泊された部屋なども参観した。28日に行われた長崎3地区・上五島下五島地区司祭団、修道女、信徒役員との歓迎会では、長崎教区で働く奉仕者たちに感謝の意を表し、ねぎらいとますますの活躍を願う励ましの言葉をかけた(駐日教皇大使の訪問日程のうち、紙面に間に合ったもののみ掲載)



如己堂(永井隆先生写真の前)にて

『ザビエル年を深めよう』

第3回 下川英利神父

ザビエル生誕500年、ほほえみの十字架への想いを新たにしています。中町教会に赴任して以来、祭壇に大きな十字架が欲しい、できることなら、話題性のある十字架を探していたのです。そのことが、ほほえみの十字架に出会ったきっかけです。

私が話題性のある十字架を求めていたことには大きな理由があります。それは、昨今、教会を訪れる観光客が増え、非キリスト者同士の結婚式、コンサートなども頻繁に行われていることは開かれた教会の一つの証しでもあります。しかし、これだけ、教会を訪れる人がいても、「あの十字架はどういう意味が」とか「教会が十字架を大切にしているのはなぜ」と尋ねる人が一人もいないのです。いわば世の中の人々は十字架に対して無関心であります。このような無関心な人にも、話題性を通して、十字架に向かわせることができたらと願っていたのです。

図らずも、ザビエルが少年のころまで、こよなく愛され、家族とともに祈り、親しんでいた「ほほえみの十字架」がザビエル城にあることを耳にはさんだのです。私は時を待たずして、スペインのザビエル城に巡礼しました。ザビエルが、少年のころ祈っていたチャペルに案内された後、「ほほえみの十字



中町教会祭壇中央に据えられた「ほほえみの十字架」

第3回は諫早教会主任下川英利神父。中町教会赴任中に聖堂内の十字架としてザビエル城の「ほほえみの十字架」を採用した当時のいきさつから。

架に出会ったときには、深い感動に身が震えました。苦しみの中に、救いを全うされた満足感あふれる「ほほえみの十字架」、苦しみの中に、深い愛を表現しているこの十字架は、私たちの素朴な信仰そのものであります。ザビエルが日本人に信仰の種をまかれたその根底には、このほほえみの十字架を通してキリストの神祕に触れていたからだ、強く心に迫るものを感じ、このほほえみの十字架を中町教会にと、その場で決心しました。その翌日、マドリードの彫刻家に制作を依頼し、複製が完成したのです。そして、2004年4月4日高見大司教によって祝福され、祭壇に奉納されました。

教皇大使の訪問日程(要約)

- 26日(金) 午前：来崎
午後：爆心地公園、平和公園、如己堂など
27日(土) 午前：西坂殉教地、大浦天主堂など
午後：女子フォコラーレ・センター、神学院など
28日(日) 9時半：公式訪問ミサ(浦上教会)
午後：黒崎、出津など訪問
夕食：長崎3地区、五島地区司祭団との歓迎会
29日(月) 午前：雲仙訪問
午後：佐世保・三浦町教会、その後平戸へ
夕食：佐世保地区・平戸地区司祭団との歓迎会
30日(火) 午前：平戸から長崎へ移動
午後3時：日本カトリック女子修道会総長管区長会 総会開会式

長崎の宗教と文化 講話 国宝・大浦天主堂で始まる

長崎さるく博06 タイアップイベント「市民セミナリヨ2006長崎の宗教と文化 講話」第1回は4月29日(土) 午後7時から国宝・大浦天主堂で開催され、講師高見大司教は「ローマ教皇庁と長崎」と題してキリシタンの全容を語った。

企画はアジエンダNOVAながさき主催、国宝・大浦天主堂の共催。聖堂は初めて聖堂に入った聴講者など300人が席を埋めた。

大司教は聖フランシスコ・ザビエルが来日した1549年から1981年(25年前) 教皇ヨハネ・

パウロ中田武次郎神父帰天



かねてから病氣療養中だったパウロ中田武次郎神父が5月17日、肺炎のため亡くなった。91歳。中田神父は1914年10月24日、新上五島町鯛ノ浦生まれ、鯛ノ浦教会出身。終戦後33歳で大村の公教大神学校に入学、福岡サン・スルピス大神学院を経て1954年3月19日、大浦天主堂で山口愛次郎司教(当時)に

より司祭叙階。同年4月稲佐助任補佐、55年5月南田平助任・潜龍担当、58年5月中町助任・稲佐担当、62年4月稲佐主任、70年2月水の浦主任、78年3月下神崎主任、88年3月水主町主任を歴任し、41年間の司牧生活を経て95年4月より聖マルコ園にて引退生活を送っていた。

ユーモアを絶やさない語りかけで信徒の心をとりえ、園長、教育委員などを通して多くの人に福音的な生き方を示した。葬儀ミサは5月19日、浦上教会にて行われた。

パウロ2世の来日までの潜伏時代を織り込んだ450有余年にわたる「長崎キリシタン史」を3カ所に設けたスクリーンを使って話した。

聴講者の塩崎みちえさんは「長崎とローマ、ザビエルによって始まり、綿々として続いてきたことが、迫害時代にも司教さまを任命したという話を聞いてよく分かりました」と感想を述べた。

講話の後はNHKのラジオ「音楽の泉」で知られる宗教史学者・皆川達夫氏(写真下、内)の解説をうけ、野下千年師の指揮で、長崎カトリック合唱団・中町教会聖歌隊によるグレゴリオ聖歌が披露され、聴衆を魅了した。



長崎カトリック合唱団・中町教会聖歌隊

市民セミナリヨは、第1部を「ミニさるく」第2部「宗教家による文化」で、遺欧少年使節団がヨーロッパで見たであろうルネサンス音楽を「ザビエル記念アンサンブル」のメンバーが演奏し聖堂に響いた。

第3回講話は、6月17日「殉教と潜伏」浦上四番崩れと近代日本の夜明け」をテーマに片岡千鶴子・長崎純心大学学長が話す。

修道会人事異動・任命

- ▼レネブートル会 盛 克志師 愛宕教会主任(愛宕教会助任)
- ▼マリア会 松本 幸徳師 海星修道院院長(志願者係)

ほしめ

亡くなった先輩司祭への追悼説教が回ってきた。「いとこの子」に当たるわけだが、親戚だから依頼が来るのだろかなあとは思っていても、いざその時になるとさびしいものだ。先輩司祭が残してくれた「キリシタンのルーツ」という本を頼りに、司祭としての一生をどのように全うし、私たちに何を残してくれたのかを考えつつ話をまとめ、葬儀ミサの説教に臨んだ。それにしても教区で働いてくださっている司祭がこれでもかというくらいに亡くなっていく。教区に奉仕して今年亡くなった司祭は5人。失った5人は実際には5人の新司祭では埋まらない。新司祭は数々の経験を経なければ1つの教会を任せられないし、さまざまな問題の対処法は経験を積みなければおおいそれと身につかない。▼社会ではすでに定年退職者がたくさん出る来年を「2007年問題」として取り上げているが、社会の中にある教会も同じことが当てはまるのではないかと私たちは後継者をどのようにして育てていけばよいのだろうか。じりじりと、体力を奪われつつあるのではなからうか。▼復活した主と出会うこともなお動きの鈍かった弟子たちは、聖霊降臨で一新した。12人はさらに7人を選出するとき「聖霊に満ちている人」を選んだ。今あらためて、聖霊の働きを願い、人を宣教者に変容させる神の働きに信頼することしよう。

イエズス会立山修道院(通称「黙想の家」)を どうぞご利用ください

「イエズス会立山修道院(黙想のできる家)」のあゆみ…長崎港を望む景勝地にイエズス会立山修道院はある。以前、殉教地と思われ、毎年大勢の信徒が2月5日殉教の記念日に集まった所。その目印だった大きな石とグミの木は今も残り、幾世代にもわたる信徒の祈りに秘められた思いを物語る。ここは26聖人列聖100年(1962年)を記念に建てられ30数年の歴史をもつ、『祈りのまち長崎』を誇る祈りの場所。

親しまれた祈り「黙想」のすすめ…キリストのみと向かい合う「黙想の体験」は、現代の多忙な生活に大いに勧められる。ゆっくり祈る中でキリストの光や導きが、これまで気づけなかったことに気づかせたり、思いもよらなかったひらめきがあったり、心が潤されたり、生き生きとした喜びに満たされたりする。ここは、その信仰(キリストをお喜ばせること)体験ができる所でもある。

「立山修道院」は今…多くの奉仕者のおかげで自然の四季に祈りの雰囲気醸し出され、司祭も常時在住しミサもある。ゆるしの秘跡を望む方も電話1本で来院可能。また、日帰りや泊まって祈りたい方には、心の糧に聖書とご聖体を味わい、体の糧にシスターのまごころこもった食事をいただける。その他、ゆっくり静かに祈りたいグループ(司祭、修道者、信徒、一般の方など)や巡礼者、個人にも開かれる。かつて殉教地として大勢の信徒が祈るために足を運んだように、どなたでも自由に気軽に訪問できる。(tel095-821-4577)

交通機関 ①タクシー…ホテル日昇館隣(JR長崎駅前)から10~15分、料金約1500円。②バス利用の場合…JR長崎駅前、県営バスは各時28分、長崎バスは各時59分に「立山」行き発車(約15分)。また長崎駅から中町教会近くの「駅前東口」バス停からは10~15分おきに、「立山・浜平」行き(少し迂回)が運行中。いずれもホテル長崎前『立山』で下車(約20~30分)。③徒歩の場合…JR長崎駅前から26聖人殉教記念聖堂横道を通りホテル長崎を目指して300段近くの階段を上る(約30分)。



山口鉄雄神父帰天
大阪教区司祭ラウレンシオ山口鉄雄神父は、かねてよりガラシア病院で療養中だったが、4月15日、肺炎のため帰天した。86歳。1919年8月15日平戸市生まれ。1949年12月21日司祭叙階。

長崎地区経済評議会連合会、神学校へ寄付
長崎地区経済評議会連合会(指導司祭山内実合、永山力会長)は、教区組織見直しに伴い、昨年度をもって解散。この5月、その余剰金を聖ルドルヴィコ神学院、長崎コレジオ、聖コルベ志願院へそれぞれ寄付した。

市民セミナー第3回 講話「殉教と潜伏・浦上四番崩れと近代日本の夜明け」
6月17日(土)19時~大浦天主堂
講師・片岡千鶴子長崎純心大学学長 問合先・アジェンダNOVAながさき TEL095(848)0492

マザー・テレサ写真展
6月13日(火)~7月2日(日)ナガサキピースミュージアムにて開催 入館無料
▼公開聖書講座「詩編」
「祈りの中の祈り」 6月15日(木)19時~20時半
カトリックセンター
講師・和田幹男師(大阪教区)
問合先・生涯養成委員会 TEL095(841)7731

会葬御礼
カトリック長崎大司教区司祭・パウロ中田武次郎神父の逝去につきましては早速、ご重なる弔問・弔電ならびにご香典を賜り、葬儀の際にはご会葬、献花の弔意に接しましたうえ、各教会・修道院で故人のために祈りいただき誠にありがたく厚く御礼申し上げます。一々拝眉のうえ御礼申し上げます。紙上をもって代えさせていただきます。
二〇〇六年五月
カトリック長崎大司教区
大司教 高見 三明

「祈りの一日」ともに祈る日々は、実生活や問題を振り返り、静かに祈りたい、静かな時間を持ちたいと思う方はどなたでも(信徒、一般の方も問いません)自由に参加できるものです。
長崎カトリック神学院
●山口ユリ様(善長谷) 故ペトロ山口七郎様
右の方から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。
TEL095(821)4577

イエズス会立山修道院 お知らせ
●祈りの一日 ①6月26日(月) ②7月2日(日) ③7月3日(月) ④8月7日(月) ⑤8月9日(水) ⑥8月15日(火) 9時50分~15時半 ※6月25日(日)は中止です。
●ともに祈る日々 8月19日(土)~20日(日) 初日17時~翌日15時半 ※7月15日(土)~17日(月)は中止です。
▼研修会「生け花による典礼表現」 7月23日(日)13時~16時 青方教会(新上五島町) 聖堂の生け花のありかたを典礼の要素から探ります。教区典礼委員会主催 申込先・研修会事務局 長崎カトリック神学院内 TEL095(844)1096 FAX095(840)0750



雲仙の湯壺(つぼ)に投げ込まれた殉教者たちが、神の力に支えられて最後まで迫害を乗り越えたこと、

五月晴れの中 雲仙殉教祭

教区主催の雲仙殉教祭が5月21日、高見三司祭司祭の司式のもと、雲仙メモリアルホールで行われた。信徒約2000人、司祭35人が参加。そのうち司祭10人を含む80人ほどの韓国巡礼団も参加した。長崎教区の参加者も家族連れの車や大型バスを活用する教会など、殉教者の熱意に触れようとする思いが伝わってきた。

神の業と人間の業の合作が殉教であると力強く語りかけた。前に進んでいく右足が神の力なら、左足は人間の力、左右の力がかみ合って殉教の栄冠を勝ち取ったのだと分かりやすく説いた。ミサ後、殉教祈念碑まで皆で祈りながら巡礼した。雲仙地獄に当時の殉教の様子が重なる。高見三司祭が祈念碑に花束をさげ、ロザリオの祈りを唱えてこの日の殉教祭を締めくくった。



交通誘導警備 常駐警備 イベント警備
(有)小田警備保障
警備員募集!
電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523
長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 テレジア 小田寿美子
専務取締役 パウロ 小田 睦

お掃除エアコン 特別割引!!
受付電話番号 0120-33-1114
有明会社 オールウェイズ
長崎市晴海台町2-14 ヨゼフ 中ノ瀬 淳一
10年間お手入れ不要!! 電気代は、約800円!!

御像のぬり替え・補修
家庭内や外庭に色がはげたり、傷ついたりした御像がありましたら御連絡下さい。(陶器の像は御遠慮願います)
ヨゼフ 山崎 満
長崎市中黒崎町 3433-2
☎ 0959-25-1117
携帯 090-2714-3192

琴海メモリアルパーク 琴海ニュータウン側
社団法人 西部長崎共同墓地公園
事務局 ミカエル 大田 力
西彼杵郡時津町字々川郷172番地
TEL FAX 095-884-1817

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網
エテルナ・ワコー(株)
代表取締役 ミカエル 溝口 美義
〒858-0926 佐世保市大湊町586
TEL (0956)47-4380

マイホームの美容と健康に!
(有)山川塗装
有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会理事
長崎県見物営繕工業協同組合理事
代表取締役 ベトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL (0956)49-3330 FAX (0956)49-8729

ザビエル生誕500周年記念 巡礼 (教区宣教委員会)

5月2〜3日、ザビエル生誕500周年記念巡礼に、橋本 勲、長谷 功両神父と信徒44人が参加、萩・山口・津和野を訪れ、ザビエルの功績と浦上四番崩れなどで亡くなった殉教者のために祈った。



2日、長崎を出発、最初の訪問地・萩へ。大照院と報恩寺でキリシタン遺物を見学、聖歌を歌って感謝を表した。浦上四

た山口の大道寺跡(現在はザビエル公園)となっている。を訪れた。

3日、津和野教会には各地から約1200人が集まった。ミサ会場の乙女峠まで行列に参加し、萩教会では聖体賛美式に参列、ザビエルが布教したと祈りをささげた。また巡礼中、山口京子さん(長与教会)から、

青年のための 巡礼ウォークin大村

5月3〜4日、召命委員会主催の巡礼歩行が大村で行われ、青年16人と司祭14人が参加した。殉教地などを巡礼(写真)



は帯取殉教地でミサをささげ、仏谷洞窟まで歩いた。各巡礼地で信徒の説明、司祭の講話を聞き黙想し、祈りをささげた。また、1日目の夜はパーベキユで交流、熱く語り合った。参加者の深堀彰さん(20)は、「大村の迫害の歴史を勉強でき、いろんな青年たちと知り合うことができてよかった」と感想を語った。

開催され、長崎会場となった浦上教会に各小教区

米軍住宅地で 堅信式 佐世保

5月7日、佐世保市の米軍住宅地で堅信式が行われた。ハウスステンボスのすぐそばに位置するこの場所での堅信式は珍しい。ポーランド出身のチャブレンをはじめ、フィリピン系の顔ぶれなど国際的な雰囲気が出た。



ネデイクト16世の世界召命祈願のメッセージを引用しながら受堅者たちを励ました。式には永井学生センターのアギラール神父も同席した。式の後ホールで受堅者と会食を共にし、喜びを分かち合った。

ケセン語の聖書 山浦玄嗣氏の講座

「ふるさとのことばでイエスのことばを聞く」と題した特別講座が5月5日、カトリックセンターで開かれた。講師は山浦玄嗣(はるつぐ)氏。氏は「新共同訳聖書」を東北地方の人たちに、どのような言葉に訳したら「みことば」が伝わるかを研究している。同氏の書によるとケセン語の読みを振り仮名で表すと、預言者、祭司、律法学者等。また訳について、マタイは「神の

を広く理解してもらえ、か、ギリシャ語原典から起こし岩手県気仙(けせん)地方の言葉に訳した「ケセン語訳聖書(全4巻)」の出版にこぎつける。山浦氏は「新共同訳聖書」を評価したうえで、翻(ほん)訳の宿命か言語になじまない表現を地方の方言で分かりやすく、イエスのことばを伝える研究に取り組む。



神がすべての秩序の源で、平和のことを強く意識してのこととあったという。山内神父は、真理とは

「教皇さまが私たちに訴えたいことは、『平和のために努力する。キリストの言葉を実行する。自分の身近な所から平和を創るために、人を愛し、隣人を愛すること』。これらを実行しましょう」と強調した。講演会には信徒を中心に約300人が集い、熱心に聴き入った。

潜竜教会 新築落成

老朽化が進み新築していた江迎町の潜竜教会が3月9日、高見大司教、近隣教会の司祭、来賓を迎え落成祝福式を行った。



教会は最初炭鉱住宅

を教会とし、1952年に新たに教会を建設、今日に至っていたが、老朽化で建物の維持も限界を越え、昨年9月教区の援助、信徒の寄付金を受け、この3月完成した。総工費9千万円。

第3回あつちこつちミサ

5月21日午後3時、全国17会場で一斉に「第3回あつちこつちミサ」が



から青年たちが集まった。これは、全国各地の青年たちがミサを通して互いの結びつきを感じ、それぞれの地域で一番必要な形として生かされる活動となることを願って呼び掛けられたもの。今回のテーマは「おうちに

帰ろう」。事務局を担当した福岡の青年を中心に、テーマソング(作詞作曲・平田直神父)や式次第・共同祈願を準備、インターネットを活用して全国規模で連携をはかった。長崎でのミサは、参列者が祭壇を丸く囲んで顔を見合わせながら行われ、温かい派遣の祝福を受け閉祭した。

第116回ケルシリヨ

第116回ケルシリヨは5月2日夕方から5日まで長崎イエズス会立山修道院で、指導司祭三村誠一師のもとに17小教区26人(男性10、女性13、



助祭1、修道女2)が参加して開催された。

親子1組が参加、80歳以上24歳の家族的雰囲気の中で、教区の皆さまの尊い祈りと犠牲、神さまの愛に包まれ、神さまの心を体で感じ、キリストとの真の出会いへと導かれ、これからは小教区の一部としての信仰生活、奉仕に生きるよう決意を新たにしたい。

この4月から救急救命士による薬剤投与が可能になった。県内で初の資格認定証を取得したのは新上五島町消防本部の窪口さんと長崎市消防局の鶴林哲哉さんの2人。

昨年救急救命九州研修所(北九州市)で約1カ月の研修を受け卒業試験(実技、筆記)合格の後、

薬剤投与もできる救急救命士 県内初の資格認定証を取得

認定証をとるまでの苦

窪口 雅昭さん (47、新上五島町消防本部)

はい、火災予防のため、火活動にも携わります。現在、定期的に上五島病院の医師との勉強会、搬送傷病者に対する処置の事後検査を受ける。



技術の向上が日々の課題です」と付け加える。

消防司令補。担当は消防本部予防課予防班係長兼消防課救急救班係長。兼消防署予防課予防班係長と、職制を聞いただけでも仕事の厳しさがうかがえる。

夢ですか。「私がかかわった傷病者が自分の足で病院から社会復帰すること、何より立派なことです」。家族は長女が長崎純心大学を卒業し、今年就職。二女も同大学生。家庭には夫人とよき友の愛犬と暮らす。浜串小教区高井旅教会所属。

いのちの尊さ... シンポジウム開催

シンポジウム「いのちの尊さをどう伝えるか」が7月30日(日)午後2時〜4時半、長崎ブリックホール・国際会議場にて開催される。入場無料。問合せはTEL 095(862) 1892 小畑へ。



清水氏に藍綬褒章



浅子2 青方1 大曾2 三井楽1 福岡サ・スルビス大神学院助祭1 聖母訪問会修道女1 純心聖母会修道女1

した。公衆の利益に貢献したとして県内での藍綬褒章受章者(5人)に長崎市辻町の清水昇さん(75)が選ばれた。1979年から今日まで保護司を務める。ピンセンシオ浦上協議会会長。

